

# 「砂防堰堤探検隊」 出動しました

○開催日時：平成28年6月14日(火)、15(水)、6月24日(金)、27日(月)  
28日(火)、7月4日(月)いづれも 9：20～13：45  
※6月28日のみ9：20～11：30

○実施場所：岩手山火山防災ステーション「イーハトーブ火山局」  
焼走り溶岩流、小水無沢第1砂防堰堤、松川流路工

○参加学校：	6月14日(水)	滝沢市立	滝沢東小学校	4年生	39名
	6月15日(木)	雫石町立	上長山小学校	3～4年生	13名
	6月24日(金)	滝沢市立	柳沢小学校	3～4年生	11名
		滝沢市立	姥屋敷小学校	3～4年生	5名
	6月27日(月)	滝沢市立	一本木小学校	4年生	21名
		八幡平市立	寄木小学校	6年生	17名
	6月28日(火)	滝沢市立	滝沢第二小学校	3年生	90名
	7月4日(月)	雫石町立	西根小学校	4年生	5名

岩手河川国道事務所・岩手県・八幡平市・滝沢市・雫石町は、岩手山周辺の小学校3～6年生を対象とし、活火山岩手山における自然災害（火山災害、土砂災害）と土砂災害から人命と財産を守る「砂防」について正しい知識を普及することを目的として、「砂防堰堤探検隊」を開催（今年で21回目）致しました。

イーハトーブ火山局内で、DVDを使った土砂災害の説明や、土石流模型実験を行いました。また、岩手県立大学伊藤教授の「キッチン火山実験」により、火山噴火について学んでもらった他、ブロックを使った「災害に強いまちづくり」を考えてもらいました。その後児童たちは、バスに乗って現場へ移動し、焼走り溶岩流や小水無沢第1砂防堰堤、松川流路工を見学しました。

参加した児童からは、

「岩手山について良く知ることができた。」

「砂防堰堤が土砂災害から町を守ってくれていることが分かった。」

「土砂災害が起きた時の対策や、山が噴火した時の対策を勉強することができた。」

など、沢山の感想を頂きました。ありがとうございました。

今回の探検隊により、児童は火山や土砂による災害、砂防の役割について楽しく勉強することができたようでした。



イーハトーブ火山局で出発式



DVDを使った土砂災害の説明



岩手県立大学伊藤教授による  
「キッチン火山実験」



ブロックを使った災害に強いまちづくり



「土石流模型実験」で砂防堰堤の役割を学習



岩手山「焼走り溶岩流」の見学



「小水無沢第1砂防堰堤」の見学



「松川流路工」の見学



修了証の授与



全員で記念撮影